



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社  
コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理統括  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

(氏名) 石川 忠彦  
(氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,434	6.1	620	190.9	480	147.6	196	4.3
28年3月期第2四半期	7,009	0.5	213	74.3	193	120.3	188	189.0

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 174百万円 (97.0%) 28年3月期第2四半期 88百万円 (△51.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	11.84	11.80
28年3月期第2四半期	11.38	11.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	14,542	3,660	25.2	220.54
28年3月期	15,797	3,490	22.0	210.36

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 3,660百万円 28年3月期 3,481百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	4.3	950	33.9	800	35.6	400	△11.3	24.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	17,014,000 株	28年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	417,016 株	28年3月期	463,016 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	16,582,005 株	28年3月期2Q	16,529,639 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P4
(4) 追加情報	P4
3. 四半期連結財務諸表	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P11
(継続企業の前提に関する注記)	P11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P11
(セグメント情報等)	P11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策により雇用や所得の改善がみられ穏やかな回復基調にあるものの、年初来の株安・円高が継続し企業収益の悪化や米国の景気・金融政策の行方や中国経済を初めとする海外景気の下振れ懸念等先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは売上高拡大に向け営業部門の強化を図り既存顧客への更なる深耕、新規顧客の開拓に注力いたしました結果、売上高は74億34百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。損益面におきましては、生産設備の改善・更新による生産性の向上、原材料効率化等の効果により営業利益は6億20百万円（前年同四半期比190.9%増）、営業外費用に為替差損91百万円等を計上したことから、経常利益は4億80百万円（前年同四半期比147.6%増）となりました。特別損失に投資有価証券売却損1億75百万円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億96百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

## 日本成形関連事業

自動車部品につきましては、当第2四半期連結累計期間においても引き続き堅調に推移し前年同四半期比増収となっております。物流産業資材は、復興需要が終息したもののその他各種資材は好調に推移いたしました。この結果、売上高は、70億67百万円（前年同四半期比7.7%増）、セグメント利益は4億94百万円（前年同四半期比612.8%増）となりました。

## 中国成形関連事業

中国事業は、中国国内向け物流産業資材を中心とした売上構成となっております。売上拡大に向け注力しているものの引き続き厳しい状況で推移いたしました。売上高は1億55百万円（前年同四半期比34.6%減）、セグメント損失は38百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

## 不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。

売上高は2億11百万円（前年同四半期は2億11百万円）、セグメント利益は1億64百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、145億42百万円（前連結会計年度末比12億54百万円減）となりました。

流動資産は、現金預金30億10百万円（前連結会計年度末比1億66百万円増）、受取手形及び売掛金が25億4百万円（前連結会計年度末比5億2百万円減）等により72億57百万円（前連結会計年度末比3億72百万円減）となりました。

固定資産は、投資有価証券6億69百万円（前連結会計年度末比10億10百万円減）等により72億85百万円（前連結会計年度末比8億82百万円減）となりました。

## ②負債

負債合計は、108億82百万円（前連結会計年度末比14億24百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金36億43百万円（前連結会計年度末比4億8百万円減）等により66億88百万円（前連結会計年度末比7億円減）となりました。

固定負債は、長期借入金34億82百万円（前連結会計年度末比6億60百万円減）等により、41億93百万円（前連結会計年度末比7億23百万円減）となりました。

## ③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の変動等により36億60百万円（前連結会計年度末比1億69百万円増）となりました。

## ④キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億66百万円増加し、29億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは9億20百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益3億13百万円の計上、減価償却費4億79百万円の計上、売上債権の減少3億72百万円、仕入債務の減少4億円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2億40百万円の収入となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入8億29百万円、有形固定資産の取得による支出5億19百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは9億円の支出となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出8億79百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期(累計)では、前述のとおり生産設備の改善・更新による生産性の向上、原材料効率化等の効果により営業利益以下当初予想を大幅に上回りました。下期以降もこの状況は継続する見込みにありますので、平成29年3月期第2四半期(累計)の上振れ分を加味し、平成28年5月13日に公表した通期の連結業績予想を以下のとおり上方修正いたします。

## 平成29年3月期の連結業績予想

売上高	15,800百万円
営業利益	950百万円
経常利益	800百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	400百万円

尚、詳細につきましては、本日開示いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異の発生及び平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,843	3,010
受取手形及び売掛金	3,007	2,504
電子記録債権	660	777
製品	334	274
原材料	368	361
仕掛品	50	57
短期貸付金	112	50
その他	250	221
流動資産合計	7,629	7,257
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,153	2,078
土地	2,610	2,610
その他(純額)	1,549	1,628
有形固定資産合計	6,313	6,317
無形固定資産	59	105
投資その他の資産		
投資有価証券	1,679	669
その他	141	219
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	1,795	862
固定資産合計	8,168	7,285
資産合計	15,797	14,542
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,052	3,643
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	1,596	1,378
未払法人税等	96	134
賞与引当金	179	185
その他	1,164	1,046
流動負債合計	7,389	6,688
固定負債		
長期借入金	4,143	3,482
資産除去債務	37	37
その他	736	673
固定負債合計	4,917	4,193
負債合計	12,307	10,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	1,402	1,598
自己株式	△47	△42
株主資本合計	3,461	3,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	66
繰延ヘッジ損益	△12	△8
為替換算調整勘定	44	△59
その他の包括利益累計額合計	19	△1
新株予約権	8	—
純資産合計	3,490	3,660
負債純資産合計	15,797	14,542



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,009	7,434
売上原価	5,792	5,778
売上総利益	1,216	1,656
販売費及び一般管理費	1,003	1,035
営業利益	213	620
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	21	3
為替差益	3	—
持分法による投資利益	5	—
商標使用料	—	2
その他	14	8
営業外収益合計	46	15
営業外費用		
支払利息	64	51
為替差損	—	91
持分法による投資損失	—	11
その他	1	0
営業外費用合計	65	156
経常利益	193	480
特別利益		
固定資産売却益	33	4
新株予約権戻入益	—	4
特別利益合計	33	8
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	175
特別損失合計	0	175
税金等調整前四半期純利益	226	313
法人税等	38	117
四半期純利益	188	196
親会社株主に帰属する四半期純利益	188	196

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	188	196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115	79
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	4	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	8	△75
その他の包括利益合計	△99	△21
四半期包括利益	88	174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88	174

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	226	313
減価償却費	591	479
新株予約権戻入益	—	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△22	△5
支払利息	64	51
為替差損益 (△は益)	△4	91
持分法による投資損益 (△は益)	△5	11
有形固定資産売却損益 (△は益)	△33	△4
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	175
売上債権の増減額 (△は増加)	127	372
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△80	57
仕入債務の増減額 (△は減少)	△73	△400
未収入金の増減額 (△は増加)	8	△24
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△46	12
その他	△26	△77
小計	745	1,055
利息及び配当金の受取額	22	5
利息の支払額	△63	△51
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	32	△89
営業活動によるキャッシュ・フロー	737	920
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100	110
定期預金の預入による支出	△100	△110
有形固定資産の取得による支出	△472	△519
有形固定資産の売却による収入	42	22
無形固定資産の取得による支出	△2	△40
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	169	829
貸付けによる支出	—	△51
貸付金の回収による収入	0	—
その他	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	240

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	—
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	△1,029	△879
リース債務の返済による支出	△114	△20
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294	△900
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	191	166
現金及び現金同等物の期首残高	2,974	2,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,166	2,900

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	6,559	238	211	7,009	—	7,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	21	—	22	△22	—
計	6,559	260	211	7,031	△22	7,009
セグメント利益又は損失(△)	69	△19	163	213	—	213

- (注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去22百万円であります。  
2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,067	155	211	7,434	—	7,434
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	9	—	9	△9	—
計	7,067	165	211	7,444	△9	7,434
セグメント利益又は損失(△)	494	△38	164	620	—	620

- (注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去9百万円であります。  
2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。